

歯科衛生士と歯周治療をつなぐ ステップアップのための1冊



歯科衛生士のための最新歯周病学

加藤 熙 編著/坂上竜資・菅谷 勉・高橋幸裕・
藤井健男 著

A4判/230頁 定価 4,320円：本体 4,000円＋税
医歯薬出版（2018年7月）

医療法人社団池田歯科クリニック
評・佐藤昌美（歯科衛生士）



本書は、歯科衛生士を目指す学生にとっては歯周病学の教本、臨床に携わる私たちには歯周治療と知識を結びつける参考書になるハイブリットな1冊。北海道大学名誉教授の加藤^{おし}熙先生が歯科衛生士のために執筆した成書（教科書）です。

私と加藤先生との出会いは学生時代までさかのぼり、筆者は1989年に先生の特別講義を受講しました。当時の『歯科衛生士教本 歯周療法』が29年の時を経て、オールカラーでよみがえった本書は、歯科医師のための『新版最新歯周病学（2011年発行）』の姉妹本、歯科医師向けの本はちょっとハードルが高いなという私たち歯科衛生士のために、加藤先生とともに4人の先生方がご執筆されました。

本書を読む前に、まず、正常な歯周組織を描いてみましょう。次は歯肉炎と歯周炎の図です。どうです、正しく書けましたか？ では、第1章を開いて「歯周組織と歯周病の正しい基礎知識」をcheck、ここは国家試験に出る内容を含む学生さんにとっては必読部分、現役の私たちもイラストを見て“アタッチメントレベル”“アタッチメントロス”“アタッチメントゲイン”の定義を確認しましょう。

第2章から第9章までは臨床編です。“歯周治療の基本的な考えと進め方”“検査”をおさえてから、順番に読み進めましょう。でも、毎日忙しく働いているとギブアップしてしまうかもしれませんね。そうであれば、知りたい部分から始めるのもアリ。“口腔衛生指導”“スケーリングとルートプレーニング”“咬合性外傷”“歯周外科手術”“根分岐部病変”“インプラント”“メンテナンス”など患者さんにかかわるキーワードを目次や巻末の索引で見つけて、そのページを開いてください。そこには歯周病を予防・治療する理論と原因除去のテクニックが、イラストを使ってわかりやすくまとめられています。

一息ついて余裕があるときは、ADVANCE LEARNINGに目を通すのがお勧めです。黄色い枠内の最新情報を読めば、歯周治療への引き出しが増えて診療が楽しくなるはず、ステップアップ間違いなし！です。

歯周病を治すには、歯周治療に関する基本的な知識と技術だけではなく、さらにレベルアップを目指す“心がまえ”が大切です。先生の言葉を借りて言うなら、本書は“1つ上いく歯科衛生士”になるための専門書、これから歯科衛生士になる10代からもうすこし上の歯科衛生士さんたちの知識と臨床をつなげる最新のテキストです。